

わが家の資産形成 2

～家族6人と1匹どうやって毎月やりくりしているのか！？～

前号わが家の資産形成1でお伝えした、感情にコントロールされない口座振替でお金を貯めて行く方法をお伝えしましたが、わが家の資産形成2では、ポイントの2つ目として『お金を貯めない』について、具体的にお伝えしていきます。1つ目のポイントと一見逆行するような表現になっていますが、この2つのポイントをそれぞれのご家族の状況や時期によりコントロールすることが大切になります。

前号でお伝えしたように、わが家では現在の月々の支出額でもっとも大きい項目が教育資金になります。ちなみに、昨年までは1番は生活費でした。昨年までの何かの支出が減り、教育費が増えたという訳ではなく、生活費や住居費は変わらず、単純に教育費が増えました。つまり、支出全体の額が増えた訳です。そんな状態ではお察しの通り、今までと同じように口座振替による理性的な資産形成は難しくなってきます。では、それ以降は一切資産形成をしないのかと言うとそんなことはなく、2つ目のポイントの肝になる『お金を貯めない』で資産形成する方法に移行しています。

やり方はいたってシンプル、預金口座にあるお金を一時払いで運用性の商品に預け替えるだけです。毎月・毎年・毎週のコツコツ口座振替による資産形成から、余裕資金を都度預け替える方法へシフトしていきます。そうすることで、毎月の支出額を抑えて（抑えるというよりは、以前と変えず）日々の生活に余裕を持ちながらも将来に向けての資産形成もきちんと行えるという訳です。以前のコラム「Time is Money!?!」でもお伝えしたように資産形成・資産運用に最も大切なのはなんと言っても Time・時間です。毎日毎日の大切な時間を常に利用して、シームレス（安倍元首相が国防の議論の際に良く使っていた表現）な資産運用が重要になります。

具体的な方法とその効用について記していきます。まずは具体的な方法についてですが、実はとっても簡単ですよ。まずは普通預金に置いておく現金を決める。コロナ以前、私が実践していて契約者の方にもお伝えしていた目安は月に必要な現金の半年分です。30 万円で生活しているご家庭であれば、30 万円の 6 か月分の 180 万円ですが、少し多めに切りも良いので 200 万円。難しく考えなくて良いですよ。適当で良いんです。と、ここで少し横道に逸れますが、『適当』という言葉に皆さんはどのような印象をお持ちですか？私が前述したように、少しいい加減なイメージで

しょうか？「あいつは本当にいい加減で適当な奴だなあ〜」「早めに待ち合わせ場所についたから、適当に時間潰しといて」と言った感じでしょうか？しかし、理系的な人（数学用語）からすると、『適当』は適当・いい加減ではないんです。どちらかと言うと、適切や適宜、ほどよく当てはまる、分かりやすく言うと『きちんと・ちゃんと』といった意味になります。病院でお医者さんに診察してもらい、お医者さんが「**適当**な薬をだしておきますね（☺スマイル）、お大事に。」と言っても、決していい加減な先生だと思わないでください。と、完璧な余談ですが、ここで私が言う「適当で良いんです。」は文系出身の私が発した、いい加減な方の意味ですので、肩肘張らずに読み進めてください。そして、2年程前からのコロナ禍では、もう少し手元に現金を置いておく必要があると個人的には感じていますので、先程のご家庭の例で言うと、生活費の1年分＝360万～400万は現預金で置いておいてもらい、そこからはみ出したお金については、一時金で運用商品に預け替えると言った方法です。

わが家の例・実践で言うと、コロナ禍で自粛生活が続いたため、家族旅行やレジャーや外食、年2回程度の鳥取への帰省も出来なかったこともあり、その分のお金を適当な時期に何度か預け替えました。そして、今までポイント1で感情にコントロールされない口座振替で積み立てていた資

金も、積み立てをストップして、その積み立て分を教育資金へとシフトし、今まで積み立てて来た原資を一時払いで預け替えました。コロナ禍で国から支給された給付金についても、一部は有効に使わせていただきましたが、それ以外は運用商品に預け替えました。国は私のような給付金の使い方に対し、経済効果が無いと批判していますが、将来いただいた資金以上に使わないといけないので、安心してください。直ぐに結果・効果を求めるのは良くないですよ～、と直ぐに成果には結びつかないがコツコツと頑張っているであろう、わが子を見て我慢我慢と自分に言い聞かせると同時に、自分も結果や成果に結びつく努力＝過程に対してフォーカスすることを忘れてはならないと毎度のことですが、自省しています。ちなみに、わが家の愛犬・ヨークシャーテリアのさくらの毎日の餌代や2か月に一回程度のカットも固定費としてありますが、家族に与えてくれる癒し効果からすると、何倍にもなっています。

次に、ポイント2で行う一時払いによる効用については、わが家の具体例のところで記した、月々の支出（固定費）を一旦下げて、その分新たに増えた固定支出の財源とする。こうすることで、月々の支出がどんどん増えていくいわゆるパーキンソンの法則に嵌ってしまうこともないですし、日々の生活が苦しくなってしまうこともありません。そして、それまでに

積み立てたまとまったお金は直ぐに使う必要がなければ、預金口座にただ置いておくのではなく、一時払いで運用商品に預け替えることで、さらに運用を続けることができる。この方法は以前の資産形成コラム『Time is Money!?!』の中で登場する太郎と健太の資産形成方法の太郎のやり方を復習していただくと、よ〜く分かると思います。(HP を更新できていないので、参考までに改めて上記コラムも同封します。※2024 年 10 月現在は既に更新済)

と言うことで、実践的わが家の資産形成のポイント 1 . 2 をお伝えしましたが、参考にし実践するかどうかは任意です。そしてここでも『任意』の数学的意味については少し違うと言うことだけお伝えし、このコラムを読む**任意** (数学的な) の方々からのご相談をお待ちしております。**適当**に相談に乗りますので、お気軽にご連絡ください。(最後の『適当』の解釈はお任せいたします。)

※文中に出てくる**太字の言葉**については数学的な意味合いで表現していると解釈してください。

SL:2710-3220-5378
ソニー生命保険(株) 大分支社
〒 870-0029 大分市高砂町 2-50
オアシスひろば 21 9 階
TEL 097-532-9200
ライフプランナー 山田新悟